

船舶事故等調査報告書

平成26年6月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013広第95号
事故等種類	座洲
発生日時	平成25年5月31日 16時50分ごろ
発生場所	岡山県岡山市岡山水道 岡山市所在の西大寺港九幡東1号防波堤灯台から真方位262° 1.48海里（M）付近 （概位 北緯34°36.0′ 東経134°00.1′）
事故等調査の経過	平成25年6月7日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 ^{だいたう} 大東丸、497トン
船舶番号、船舶所有者等	132945、株式会社ブリジストン汽船
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	なし
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、船首約2.10m、船尾約3.45mの喫水により、船長が単独の船橋当直に就き、約7.0ノットの対地速力で岡山水道を東進中、平成25年5月31日16時50分ごろ船底が海底に接触した。 本船は、満潮時を待ってタグボートの支援により、6月1日04時ごろ離礁し、岡山市岡山港高島岸壁に着岸後、ダイバーによる船底調査が行われ、底質が砂であり、損傷のないことが確認された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南南東、風力 2、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の初期
その他の事項	岡山水道は、児島半島の北東側から入り込んで岡山港に至る長さ約5M、幅約0.5Mの水道であり、可航幅（水深5m以上）は150m以下の所がある。 本船は、本インシデント当時、レーダー及びGPSプロッターを使用していた。 船長は、岡山水道の航行経験が過去に1度しかなく、本インシデント当時、乗組員に船倉の水洗いを行わせていた。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	あり
判明した事項の解析	本船は、岡山水道を東進中、船長が浅所に接近していることに気付

	かずに航行したことから、同浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、岡山水道を東進中、船長が浅所に接近していることに気付かずに航行したため、同浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
参考	船長は、本インシデント後、再発防止を検討し、次の対策を講じることとした。 <ul style="list-style-type: none">・ 狭水道航行時は、当直者の増員及び船首部での見張り強化に努め、機関の適度の使用と慎重な操船を行う。 今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 岡山水道は狭く、両側は、概ね水深5 m以下の浅所であるので、水道を離脱しないように注意すること。